第 63 号
発 行 所
独立行政法人国立病院機構
仙台医療センター附属
仙台看護助産学校同窓会
仙台市宮城野区宮城野2-8-8
電話　022-293-1111　内8100
印刷所　株式会社印刷館

同窓会会報

独立行政法人国立病院機構
仙台医療センター附属仙台看護助産学校
創立年月日　昭和22年９月１日

学校長挨拶



学校長　**上之原　広司**

令和２年１月より橋本前学校長の後任として学校長を拝命した上之原です。会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。昭和22年９月１日に国立仙台病院付属高等看護学院として創立以来73年が経過しています。改元の日である令和元年５月１日に仙台医療センターは新築移転、その後、病院組織を新たな職場に合わせる作業に職員一丸となり取り組み無事軌道に乗りましたが、令和２年に入り、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい緊急事態宣言が出され不要不急の外出は禁止される事態となりました。当院は感染症指定医療機関ではありませんが、大型クルーズ船の多数患者対応のためのＤＭＡＴ派遣要請、国立病院機構本部の要請に基づく機構内病院への医師派遣、検疫官としての派遣など、新型コロナウイルス感染症に初期より対応してきました。そして、県の要請に基づき入院患者の受け入れを行いました。その対応の前線に立つのは看護師であり、多大なストレス、周囲の反応に悩まされながらも診療に当たってくれています。一方、当院は救命救急センターを有し、地域の３次救急を担っており、この維持は感染症対応により損なわれてはいけないと考えています。新型コロナウイルス感染症対策は長期戦となることが予想されますが、すべての患者が安心して療養できる診療体制を「新型コロナウイルス感染症の患者さんもそれ以外の患者さんも安心して受診していただくために」と題して病院ホームページにも掲げ、院内感染に十分注意し平常診療を維持していきます。第２、第３の流行期に備え万全な準備を整えているところです。

患者さんにやさしく地域に開けた病院をめざし、患者さん、地域住民そして当院の診療をご支援いただいている仙台市ならびに宮城県内の多くの医療関係者と連携を深めてまいりたいと思います。本校の同窓の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

会長挨拶



会長　**佐々木　和　子**（看31回生）

会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

この度第30回同窓会総会において会長を仰せつかりました。今回は、私を含め役員９名全員が新メンバーに代わっております。皆不慣れではありますが、協力して精いっぱい務めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年２月に旧役員から引継ぎを受けた時は、２０２０年を迎え、新しい年に期待を膨らませていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行で全く想像だにしない日々を過ごすこととなりました。不要不急の外出を避けるため、役員会も半年以上延期しておりました。昨年の総会での決定事項を早急にお知らせしなければならないところでしたが、会報発行が遅れましたことをお詫びいたします。総会では、数年来の懸案事項であった会費納入の変更及び同総会会報の電子化に関しまして承認されました。今後入会時に永代会費として徴収し、年会費は集めません。会報誌については看護学校ホームページに掲載し、次回からは郵送を希望される方にお送りすることになります。また、電子化に際しましては個人情報保護にも十分留意し行っていきたいと思います。新たな試みで不安がありますが、皆様のご意見・ご協力をいただき今後につなげていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

まだまだ新型コロナウイルス感染症対策は予断を許さない状況かと思われますが、同窓生の皆様のご健闘ご活躍をお祈りいたします。

就任の挨拶

仙台医療センター附属仙台看護助産学校
助産学科教育主事

菅　原　由香里（助17回生）

今年度より助産学科教育主事を拝命致しました菅原由香里と申します。私は6年ぶりに母校である助産学科へ戻ってきました。懐かしさを感じる間もなく「コロナ禍」に巻き込まれ、「入学式」「学校祭」は中止となり、学校から「活気」や「笑い声」が消え寂しい気持ちがします。

助産学科は9月から分娩介助実習が開始となり、やっと助産学生の日常が取り戻せたように思います。この状況下で学生を受け入れて下さった産婦さん、実習に理解を示して下さった母子医療センターの皆様に心から感謝したいと思います。

私は教員の頃から分娩介助実習を通して助産師として成長していく学生の姿を見るのがとても好きでした。最初は「不安」や「無力感」しかなかった学生が「抱負」や「達成感」へと心も技も上達していきます。その姿は頼もしく輝かしく自慢の学生達だなと感じます。県内で最も多くの助産師を輩出している伝統校の誇りを今後も守り続けたいと思います。同窓生の皆様のお力もお借りすることもあると思いますが、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

第30回 同窓会総会開催される

第30回　独立行政法人国立病院機構仙台医療センター附属仙台看護助産学校同窓会総会が令和元年10月19日（土）15時より、仙台サンプラザホテルパール会場において開催されました。総会出席者数は32名、委任状提出者数は425名（会員総数３２３８名）でした。出席者数及び委任状数が会員総数の10分の1以上となり、総会は成立しました。

提出議案及び審議の結果

第1号議案
平成29年・30年度庶務報告…可決。

第2号議案
平成29年・30年度会計決算報告
……可決。
平成29年度・平成30年度
会計監査報告……可決。

第3号議案
同窓会会則改正案……可決。

第14条　本会の会計は入会金、寄付金をもってこれにあてる。

第15条　本会の会費は入会時に永代会費として４０００円徴収する。

第4号議案
令和１・２年度事業計画案…可決。

第5号議案
令和１・２年度会計予算案…可決。

提出議題につきまして審議された結果、議案の通り可決されたのは以下の通りです。

平成29年度・平成30年度庶務報告の主な内容

- 同窓会会報の年1回の発行
- 母校の卒業式出席・卒業記念品（卒業証書ホルダー）贈与の報告。
- 同窓会役員会開催状況（会報発行準備、総会開催について準備）

令和1年度・令和2年度事業計画

①年1回の会報発行・ＨＰ掲載
②卒業記念品贈与
③総会開催
④厚生福祉（弔電等）
⑤その他（運営に関する事項）

承認された次期同窓会役員

会　長	佐々木和子(看31)
副会長	高橋　紀子(看48)
〃	石栗　広志(看53)
会　計	松永あきつ(看56／助30)
〃	清水恵理子(看46／助19)
書　記	高橋　寛名(看55)
〃	外田　愛里(看62)
監　事	佐々木晃子(看46)
〃	木村　陽子(看40)

国立病院機構仙台医療センターが移転し、初めての総会となりました。この度は病院長先生をはじめとし、皆様の協力の元総会開催前に「新病院見学会」を開催することが出来ました。多くの方々に新病院へのお祝いのお言葉、激励のお言葉、同窓会の盛況を願うお言葉や役員への労いの声を沢山かけて頂きましたことを役員一同感謝申し上げます。

同窓会会報の発行、ホームページへの会報掲載に伴う郵送の削減、会費に関する今後の運営については、同窓会員の意見を聞きながら、先を見据え建設的に進めていきたいと考えています。総会への出席、委任状等のご協力を頂き、総会を終了することが出来ました。

前副会長　佐藤　秀子（助16回生）



第30回　仙台医療センター附属 仙台看護助産学校同窓会 総会
令和元年10月19日

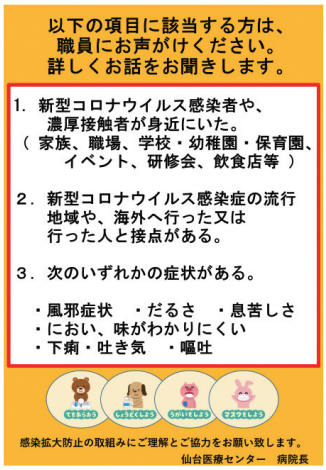
新型コロナウイルス感染症対策について

仙台医療センター感染対策室　石栗　広志（看53回生）

私は、看護学科53回生の石栗広志と申します。現在、感染管理認定看護師として仙台医療センターの感染対策室で勤務しております。

仙台医療センターでは、横浜のクルーズ船での発生報告がされた1月より、感染対策を強化しています。国内、地域での対策実施がされていく中、当院でも様々な取り組みを積み重ねてまいりました。現在の当院の状況を、幾つかご紹介します。

●**トリアージ**：図のポスターを病院内に掲示し、建物に入る方全員に検温、症状や流行地域への来訪などを確認しています。症状のある方をはじめ、新型コロナウイルス感染症が疑われる方に対して詳細な問診や保健所への相談を行い、病院内への感染拡大を防止しています。



▲感染拡大予防ポスター

●**面会について**：原則面会は禁止する措置を取らせて頂いています。

●**職員の健康観察**：全職員を対象に、毎日の検温と行動歴の記録にご協力頂いています。記録は週に1度、職場ごとに取りまとめ確認し、感染が疑われる場合は、迅速に対応できるよう努めています。

●**教育機関からの実習受け入れについて**：令和２年９月の時点では実習を見合わせています。看護部では、臨床での実習経験が少ない状況での看護師採用を予測し、入職後の研修の充実を図れるよう計画中です。



▲東玄関のトリアージ

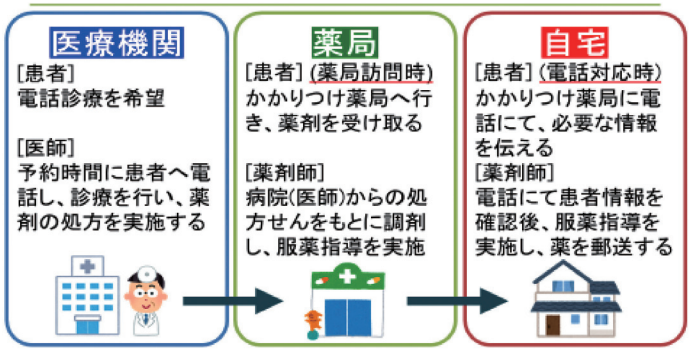
仙台医療センターは、感染症指定医療機関ではないので、原則コロナ患者の受け入れはありませんが、要請を想定し職員の感染対策を訓練しています。救急患者受け入れを行っている以上、疑似症患者への診療・対応がいつでも行えるよう、対応方法を周知して日々の業務にあたって頂いています。私たち看護師が、日々元気に看護を行うこと、感染対策を続けることで、流行を収束する力となれるよう頑張ってまいります！

電話による診察（再診）の開始

外来看護師　佐々木　晃子（看46回生）

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、従来200床未満の病院でのみ可能な電話等による再診について、200床以上の病院でも可能と拡大され当院でも開始しました。対象は、ご本人が電話による診察を希望し、かつ主治医が可能と判断した方で、当院では再診のみとなります。詳細は病院ホームページに掲載しています。ご希望があった場合、事前に予約日時やかかりつけの薬局を確認し、予約日に医師が電話で診察を行います。処方箋は医事課を通じてかかりつけの薬局へ届けます。患者さんは薬局でお薬を受け取るか、薬局によっては発送（送料は着払い）を依頼することもできます。患者さんのご希望に沿って、感染予防に配慮しつつ治療が確実に継続できるよう努めています。

電話診療時の処方せん発行と保険薬局での対応



✓院外処方せんは、当院から門前薬局には、職員が持参し手渡し

厚生労働省医政局医事課　新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて、事務連絡（令和2年4月10日）（改）　国立病院機構仙台医療センター資料、2020.

新型コロナウィルス禍の学校について

仙台看護助産学校助産学科
教務助手
松　永　あきつ（看56回生）

当校は４月６日より新学期を開始しました。教室の机の間隔を空けたり、時間で換気を行ったり、視聴覚室や体育館で講義をしたり、昼食の時間を学年、学科ごと決めたりと３密を避ける対策を講じていました。しかし緊急事態宣言が発令されたため４月21日～５月７日まで臨時休校となりました。その間、学校職員はオンライン授業ができるように準備したり、演習や実習について検討したりと学生の学習環境を整えていました。

５月８日より学校は再開となり、現在は講義や演習、実習におきましては学内実習と病院の協力も得ながら臨地実習を行っております。演習や実習は以前のように学生全員で行うことはできませんが、少人数のグループ編成を行って取り組んでいます。しかし７月に入り「みやぎアラート」の運用が始まるとアラートのレベルに合わせて臨地実習の実施の可否を決めていくこととなりました。

このような状況の中ですが感染防止対策を取りながら「感染しない・させない」ことを第一とし、学生、学校職員一丸となって頑張っていきたいと思います。



鵜飼副院長によるオンライン授業風景

クラス会の開催

日　下　貞　子（看16回生）

２０１９年10月24日～25日、国立仙台病院附属高等看護学院第16回生（昔の名前ですが）のクラス会を秋保温泉で行いました。台風19号の影響もありましたが14名の方が参加しました。〝元気で個性的〟と言われた16回生。仙台駅で逢った瞬間から学生時間にタイムスリップしたように賑やかなおしゃべりが続きました。

夕食をとりながらの交流では、卒業以来はじめて参加の人もおり過ごされてきた各々な人生を語り合いました。お連れありさんや御両親の介護に苦労した話、東日本大震災でお家も流されながら被災された方への支援されていた話。皆と逢えてうれしいと「喜びの歌」を歌ってくれた方、ロコモ体操を皆で楽しんだり、素晴らしい小唄のご披露もあったり、あっという間に時間が経ちました。

その後お部屋で昔の写真を見ながら思い出話もあり、笑いあり、涙ありの時間が夜中まで続きました。

様々な苦労も16回生らしく明るく乗り越えて頑張っている姿に一人一人様々な人生があり置かれた立場、場所で一生懸命生きていることを強く感じました。

今度はいつお逢いできるかなぁ。それまで皆お元気で頑張りましょうネと名残を惜しみながらお別れしました。



国立仙台病院附属高等看護学院16回生クラス会　於：秋保温泉 ホテルニュー水戸屋　令和元年10月24日

「秋の宿　乙女に戻って　喜寿の会」

せいの作

同窓会会報　ＨＰ（ホームページ）への掲載始めました

かねてより検討されてきました同窓会会報のＷＥＢ化ですが、この度仙台医療センターＨＰ内にあります附属看護助産看護学校のＨＰに同窓会の枠を設け掲載していくことになりました。

こちらのＨＰの閲覧方法を参考に、皆様アクセスの上ご覧いただければと思います。

今後、会報の掲載だけに限らず、同窓会に関する情報などもＷＥＢを通して皆様にお届けできないか検討を重ねて参りたいと思っております。何卒、よろしくお願い致します。

ＨＰ掲載会報閲覧方法について

（1～8の手順を参照ください。）

1 当院ＨＰのトップ画面



2 画面下にスクロール



右サイドバナーの学校　クリック **3**

4 学校HPのトップ画面



卒業生の皆様へ　クリック **5**

6 「同窓会」作成



7 学校ＨＰ下へスクロール または「同窓会」クリック



8 同窓会会報 見たいナンバーをクリックして閲覧ください

学校のトピックス

祝 卒業

令和２年３月５日に看護学科第71回生77名、助産学科第43回生25名の計102名が卒業を迎えました。令和に入り初めての卒業生でしたが、新型コロナウィルス感染拡大を防ぐため体育館での式典は中止となり、親御さんやご来賓の方々のご列席を取りやめざるを得ない状況となりました。そのため「卒表証書授与」は、看護学科、助産学科それぞれの教室に分かれ学校長先生、副学校長先生に来室いただき、学生と教員で執り行われました。

このような状況下の中、４月より卒業生はそれぞれの道へ進み、新たな環境で日々頑張っていることと思います。学校や実習で学んだ知識・技術を活かし日々学び得ながら自己研鑽に励んで頂きたいです。今後のみなさんの活躍を期待しています。

祝 入学おめでとう

令和２年４月８日、看護学科第74回生79名、助産学科第44回生25名、計104名が晴れて入学となりました。卒業式と同様、新型コロナウィルス感染拡大を防ぐため、親御さん、ご来賓の方々のご列席を取りやめ、「入学許可式」という形で執り行われました。感染予防対策を行い体育館にて新入生たちは学校長先生より入学許可をいただきました。そして新入生ひとりひとりがそれぞれ決意新たに看護・助産の道へと歩みだしました。

看護師・助産師への夢を叶えるため入学した新入生。このような状況下ではありますが目標に向かって勉強そして実習に取り組んでいってもらいたいです。今後の成長に期待したいと思います。

令和元年度卒業生の就職・進学の動向

就職先／学科	看護学科	助産学科
独立行政法人　国立病院機構	76.6%	36.0%
独立行政法人　国立病院機構以外（進学含む）	24.4%	64.0%

祝 合格おめでとう

令和２年３月19日、国家試験の合格発表が行われました。第109回看護師国家試験合格率が89.2%、第103回助産師国家試験合格率が99.4%という全国結果でした。当校においては、看護学科74名合格（２名不合格）、助産学科25名全員合格という結果でした。講義及び実習など教育に関わり支援していただきました病院職員の方々、受け持たせて頂きました患者さん、すべての方々に心より感謝いたします。

人事異動

令和元年の人事異動

〈異動〉
10月１日付
○看護学科
・教員　鎌田　朋美　先生
北海道東北グループ看護教育係長へ

令和２年３月31日付
退職及び異動された先生

〈退職〉
○看護学科
・教員　外田　愛里　先生（看62回生）

〈異動〉
○助産学科
・教育主事　鈴木　由美子　先生
（看43回生　助16回生）
北海道東北グループ看護専門職へ

令和２年度から新しく先生をお迎えしました。
○助産学科
菅原　由香里　先生（助17回生）
福島病院看護師長より昇任



第31回同窓会総会のご案内

次回、第31回同窓会総会は令和３年９月頃の開催を予定しています。総会へのご要望があります方は事務局までご連絡ください。

詳細が決まり次第お葉書等でご案内致します

会員の皆様、是非ご出席くださいますようお願い致します。

編集後記

寒さが厳しくなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は新型コロナウィルス感染の脅威にさらされ、皆様におかれましても気軽に旅行に行ったり外食をしたりという気分転換が図れない状況が続いているのではないかと思われます。役員会もソーシャルディスタンスを意識しいつもと違う雰囲気で開催されています。その中で注目を集めているのがリモートを初めとするデジタル化です。新政府によるデジタル省の新設に伴いさらにデジタル化が進むことが予想され時代の変化を感じるとともに、新たな期待も寄せているところです。今回、会報誌のWEB配信開始に伴い、皆様に郵送の希望を確認致します。同封のハガキを必ずご返信くださいますようお願い致します。

最後に、会報編集にあたりご協力いただきました方々に深く御礼申し上げます。

髙橋　寛名（看55回生）

